

# 必修の基本的事項

大項目	中項目	小項目
1 医師のプロフェッショナリズム 約4%	A 医の倫理	① 生と死にかかわる倫理的問題
		② 医師の職業倫理指針
		③ 善行、無危害、自律尊重、正義
	B 患者の権利と義務	① 自己決定権
		② インフォームド・コンセント、インフォームド・アセント、共同意思決定<シェアードディシジョンメイキング>
		③ 個人情報の保護(守秘義務)
		④ ジュネーブ宣言、リスボン宣言
	⑤ 患者中心の医療	
	⑥ 患者・家族の医療への参加	
	⑦ 患者・市民参画	
2 社会と医療 約6%	A 医療制度、医療財政	① 医師法
		② 医療法
		③ 医療保険制度
		④ 介護保険制度
		⑤ 国民医療費
	B 患者・障害者のもつ心理・社会的問題	① 疾病・障害の概念と構造
		② 生活の質[quality of life<QOL>]
		③ リハビリテーションの理念
		④ ノーマライゼーション
		⑤ 患者・障害者の心理と態度
		⑥ 患者・障害者の社会活動と社会参加
		⑦ 家族機能
		⑧ アドバンス・ケア・プランニング<ACP>
		⑨ 行動変容
	C 保健・医療・福祉・介護・教育の制度と連携	① 職種の役割と制度
		② 職種間コミュニケーション
		③ 部門間連携
	D 社会資源	① 社会保障制度(所得、介護、障害)
		② 人的、物的、精神的、経済的支援
		③ 社会復帰
	E 医学研究と倫理	① 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針
		② 遺伝子治療等臨床研究に関する指針
	F 臨床研究と倫理性	① ヘルシンキ宣言
		② 臨床試験・治験の倫理と制度
3 診療情報と諸証明書 約2%	A 診療録、医療記録	① 診療録・医療記録の管理と保存
		② 診療録の内容
		③ 診療情報の開示
		④ プライバシー保護、セキュリティ
		⑤ 問題志向型医療記録<POMR>
		⑥ SOAP(主観的所見、客観的所見、評価、計画)
	B 診療に関する諸記録	① 処方箋
		② 入院診療計画書
		③ 検査・画像・手術の記録

大項目	中項目	小項目
		④ 退院時要約
	C 診断書、検案書、証明書	① 診断書 ② 出生証明書 ③ 死産証書 ④ 死胎検案書 ⑤ 死亡診断書 ⑥ 死体検案書
4 医療の質と安全の確保 約4%	A 医療の質の確保	① 医療の質の定義<WHO>
		② 医療の質(安全性、有効性、患者中心性、適時性、効率性、公平性)、質改善手法
		③ 医療の質の評価(構造・過程・結果)
		④ クリニカルパス
		⑤ 病院機能評価、国際標準化
	B 医療事故の発生と再発の防止	① 医療過誤、医療事故
		② 医療事故の発生要因(ヒューマンエラー、システムエラー)、医療事故の分析手法、再発防止策の立案
		③ 医療安全文化の醸成
		④ 医療事故の内容
		⑤ ヒヤリ・ハット、インシデント、アクシデント
		⑥ インシデントレポート
		⑦ 医療安全管理マニュアル
		⑧ 医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医療安全管理者
		⑨ 医療安全支援センター
		⑩ 医療事故調査制度
		⑪ 医療事故情報収集等事業
	C 薬剤耐性・院内感染対策	① 院内感染対策委員会
		② 院内感染サーベイランス
		③ 院内感染対策チーム<ICT>
		④ 感染対策マニュアル
⑤ 標準予防策<standard precautions>		
⑥ 感染経路別予防策		
⑦ 抗菌薬の適正使用[antimicrobial stewardship<AMS>]		
⑧ 薬剤耐性[antimicrobial resistance<AMR>]		
⑨ 針刺し切創		
D 医療裁判	① 医事紛争、医療訴訟	
E 医薬品・医療機器の副作用・不具合	① 有害事象と副作用	
	② 副作用への対応(報告義務、治療、補償)	
	③ 添付文書	
F 血液・血液製剤の安全性	① 使用記録保管義務	
G 医療情報	① 診療情報管理・情報セキュリティ	
5 人体の構造と機能 約3%	A 周産期	① 遺伝子、染色体
		② 妊娠
		③ 分娩
		④ 産褥

大項目	中項目	小項目
	B 胎児・新生児期	① 胎児・新生児期の身体機能(循環、呼吸、発達) ② 胎児・新生児期の健康問題
	C 小児期	① 小児期の身体・心理・精神機能(発達、栄養) ② 小児期の健康問題
	D 思春期	① 思春期の身体・心理・精神機能(思春期発現、生殖機能) ② 思春期の健康問題
	E 青年期、壮年期	① 青年・壮年期の身体・心理・精神機能 ② 青年・壮年期の健康問題
	F 更年期	① 更年期の身体・心理・精神機能(内分泌、閉経) ② 更年期の健康問題
	G 老年期	① 老年期の身体・心理・精神機能(高齢者総合機能評価 [comprehensive geriatric assessment<CGA>]) ② 老年期の健康問題
	6 医療面接 約6%	A 医療面接の意義
② 医療情報の収集		
③ 病状説明		
④ 患者の教育、動機付け		
B マナー、オープニング		① 身だしなみ
		② 椅子の配置、座り方
		③ 礼儀、振舞い
		④ 挨拶、自己紹介
		⑤ 患者本人であることの確認
		⑥ プライバシー・体調・環境への配慮
C 良好なコミュニケーション		① 言語的コミュニケーション
		② 準言語的コミュニケーション
		③ 非言語的コミュニケーション
		④ 傾聴の仕方
		⑤ 患者中心型モデルに基づく面接
	⑥ 面接者の態度(共感的態度、理解的態度、支持的態度、問題解決への援助的態度、評価的態度、解釈的態度、調査的態度、逃避的態度)	
	⑦ 感情面への対応(共感、支持、反映、肯定、尊重、支援、探索)	
D 病歴情報	① 主訴	
	② 現病歴	
	③ 常用薬、アレルギー歴	
	④ 既往歴	
	⑤ 家族歴	
	⑥ 嗜好	
	⑦ 生活習慣	
	⑧ 社会歴	
	⑨ 生活環境、家庭環境	
	⑩ 海外渡航歴	
	⑪ システムレビュー<review of systems>	
E 心理・社会的情報	① 解釈モデル	
	② 心理・社会的状況	

大項目	中項目	小項目
		③ 健康観、検査や治療に対する希望・好み
		④ 受療行動、対処行動、他医受診、処方内容
	F 話の伝え方	① 平易な表現、理解の確認、質問の有無の確認
		② 告知、悪い知らせの伝え方
	G 治療への動機付け	① 患者の理解度
		② 動機付けインタビュー
	H 説明と報告	① 指導医への報告
		② カンファレンスでのプレゼンテーション
7 主要症候 約15%	A 全身症候	① 発熱
		② 全身倦怠感
		③ 食思<欲>不振
		④ 体重減少・増加
		⑤ ショック
		⑥ 意識障害
		⑦ けいれん発作
		⑧ めまい
		⑨ 脱水
		⑩ 浮腫
	B 皮膚、粘膜	① 皮疹、粘膜疹
		② 痒痒
	C 頭頸部、感覚器	① 視力障害・視野異常
		② 眼痛
		③ 眼球運動障害、複視
		④ 結膜充血、眼脂
		⑤ 聴力障害(難聴)
		⑥ 耳鳴
		⑦ 鼻出血
		⑧ 咽頭痛
		⑨ 嘔声
	D 呼吸器、心臓、血管	① 咳嗽・喀痰
		② 血痰、喀血
		③ 喘鳴
		④ 呼吸困難、息切れ
		⑤ チアノーゼ
		⑥ 胸痛、胸部圧迫感
		⑦ 失神
		⑧ 動悸
		⑨ 高血圧
E 消化器	① 嚥下障害、誤嚥	
	② 腹痛	
	③ 胸やけ	
	④ 悪心、嘔吐	
	⑤ 吐血、下血・血便	
	⑥ 便通異常(便秘・下痢)	

大項目	中項目	小項目
		⑦ 黄疸
		⑧ 腹部膨満・腫瘤
	F 血液、造血器、免疫	① 貧血
		② リンパ節腫脹
		③ 出血傾向・血栓傾向
	G 腎、泌尿器、生殖器	① 尿量の異常(乏尿、無尿、多尿)
		② 排尿障害(尿失禁、排尿困難)
		③ 血尿、蛋白尿
		④ 月経異常、無月経
		⑤ 不正性器出血
	H 心理、精神機能	① 幻覚、妄想、興奮
		② 抑うつ、躁
		③ 不安、恐怖
		④ 認知障害
		⑤ せん妄
		⑥ 睡眠障害
	I 神経、運動器	① 構音障害、失語
		② 頭痛
		③ 運動麻痺、筋力低下
		④ 運動失調
		⑤ 不随意運動
		⑥ 歩行障害
		⑦ 感覚障害
		⑧ 腰・背部痛
		⑨ 筋肉痛
		⑩ 関節痛、関節腫脹
		⑪ 関節変形
J 内分泌、代謝、栄養、乳腺疾患	① 肥満、やせ	
	② 乳房のしこり・左右差・皮膚の陥凹	
	③ 甲状腺腫	
K 周産期	① 正常妊娠・分娩	
	② 妊娠・分娩・産褥の異常	
	③ 胎児・新生児の異常	
L 小児特有の全身症状	① 哺乳力低下	
	② 体重増加不良	
	③ 活動性低下・不機嫌	
	④ 発達の遅れ	
	⑤ 性発達の異常	
8 一般的な身体診察 約13%	A 診察のあり方	① 診察前後の標準予防策<standard precautions>
		② 安全への配慮
		③ 患者への配慮(プライバシー・羞恥心・苦痛への配慮)
		④ 患者への声かけと診察に必要な例示
	B 診察の基本手技	① 視診
		② 聴診

大項目	中項目	小項目
		③ 打診
		④ 触診
	C 診察時の患者の体位	① 立位
		② 座位、半座位
		③ 臥位(仰臥位、腹臥位、側臥位)
		④ 砕石位
	D 全身の診察	① 意識レベル、精神状態、認知機能の評価
		② 体格の評価(身長、体重)
		③ バイタルサイン(体温、呼吸、脈拍、血圧、酸素飽和度)
		④ 全身の外観(体型、栄養、姿勢、歩行、顔貌、皮膚、発声)
		⑤ リンパ節の触診
	E 頭頸部の診察	① 頭部
		② 眼瞼、眼球
		③ 耳、鼻、副鼻腔
		④ 口唇、口腔、咽頭、扁桃
		⑤ 甲状腺、頸部血管、気管、唾液腺
	F 胸部の診察	① 胸郭
		② 呼吸音(気管呼吸音、気管支呼吸音、肺胞呼吸音)、副雑音
		③ 心音、心雑音
④ 背部の叩打痛		
⑤ 乳房		
G 腹部の診察	① 形状	
	② 肝臓、脾臓、腎臓	
	③ 圧痛、腹膜刺激徴候、筋性防御	
	④ 腹水	
	⑤ 腸雑音、血管雑音	
H 肛門と直腸の診察		
I 生殖器の診察	① 男性	
	② 女性	
	③ 妊婦	
J 筋骨格系の診察	① 四肢、脊柱(彎曲、疼痛、叩打痛)	
	② 関節(可動域、腫脹、疼痛、変形)	
	③ 徒手筋力テスト	
K 神経系の診察	① 脳神経	
	② 髄膜刺激症候	
	③ 運動系	
	④ 腱反射、病的反射	
	⑤ 感覚(痛覚、温度覚、触覚、深部感覚)	
	⑥ 小脳機能	
L 四肢の診察	① 浮腫	
	② 動脈、静脈	
9 検査の基本 約5%	A 意義と目標	① 診断
		② 治療効果判定

大項目	中項目	小項目
		③ スクリーニング、健康診断
	B 検査の安全性	① 実施の説明 ② 患者確認と検体の確認 ③ 検査の合併症 ④ 検査の精度管理
	C 検体の採取	① 採血 ② 採尿、採便 ③ 採痰 ④ 穿刺 ⑤ 生検 ⑥ 擦過
	D 検体の保存	① 保存方法 ② 保存期間
	E 結果の解釈	① 基準値、カットオフ値 ② 誤差、生理的変動、性差と年齢差 ③ パニック値と緊急対応
	F 一般臨床検査	① 尿検査 ② 糞便検査 ③ 胸水・腹水の検査 ④ 脳脊髄液検査 ⑤ 妊娠反応検査
	G 血液学検査	① 血球検査 ② 凝固・線溶系検査 ③ 血液型、輸血関連検査
	H 生化学検査	① 一般的な生化学検査 ② 蛋白分画、免疫電気泳動
	I 免疫血清学検査	① 炎症マーカー ② 自己抗体 ③ 血清学的診断
	J 遺伝子関連検査	① 病原体遺伝子<核酸>検査 ② 遺伝学的検査
	K 感染症検査	① 採取法 ② 塗抹検査 ③ 染色法(Gram染色を含む) ④ 培養検査 ⑤ 薬剤感受性試験 ⑥ 病原体の迅速検査
	L 病理組織学検査、細胞診	① 組織診 ② 細胞診
	M 動脈血ガス分析	① 適応と採血法 ② 結果の解釈
	N 生体機能検査	① 呼吸機能検査 ② 心電図検査 ③ 脈波検査<ABI> ④ 内分泌・代謝機能検査



大項目	中項目	小項目	
	O 画像・内視鏡検査	⑤ 脳波検査	
		⑥ 針筋電図検査、末梢神経伝導検査	
		① エックス線撮影	
		② CT(単純、造影)	
		③ 超音波検査	
		④ 磁気共鳴画像<MRI>	
		⑤ 核医学検査(PETを含む)	
10 臨床判断の基本 約4%	A 根拠に基づいた医療 <EBM>	⑥ 内視鏡検査	
		① 患者の問題の定式化<PICO/PECO>	
		② 情報収集法、文献検索法	
		③ クリティカル・アプライザル(学術批判的吟味)	
		④ 患者への適用(総合的臨床判断)	
		⑤ 研究デザイン	
		⑥ メタ分析<メタアナリシス>	
		⑦ 診療ガイドライン	
	B 臨床疫学的指標	⑧ エビデンスレベル	
		① 内的妥当性、外的妥当性	
		② バイアス、交絡因子	
		③ アウトカム、エンドポイント	
		④ 推定と信頼区間	
		⑤ 相対危険度<relative risk>(リスク比)、寄与危険度<attributable risk>(リスク差)、オッズ比<odds ratio>	
		⑥ 検査前確率<事前確率>、検査後確率<事後確率>	
		⑦ 感度、特異度	
		⑧ 尤度比	
⑨ receiver operating characteristics<ROC>曲線、カットオフ値			
C 測定の精度	① 精密度、再現性		
	D 医療技術の効率性		
11 救急初期診療 約9%	A 救急患者の診察	① 費用対効果分析	
		B 基本的な救急処置	① バイタルサインの把握
			② トリアージ(致命的な病態・疾患・外傷の鑑別)
			③ 重要臓器機能の障害を招く病態・疾患
			④ 外傷患者初期診療
			⑤ 緊急治療の要否の判断
			⑥ 部位別治療優先順位の判断
	⑦ 院外心停止<OHCA>		
	① 一次救命処置<BLS>		
	② 二次救命処置<ALS>		
	③ 気道確保(気管挿管、外科的気道確保)		
	④ 人工呼吸療法		
	⑤ 除細動、緊急ペーシング		
	⑥ 蘇生的輸液療法(静脈確保を含む)		
	⑦ 基本的緊急薬物療法		
	⑧ 止血法		
	⑨ 輸血療法		

大項目	中項目	小項目
		⑩ 脳保護療法(脳ヘルニア対策、体温管理療法)
		⑪ 体温異常に対する救急処置
		⑫ 致命的骨折の固定法(頸椎、骨盤、大腿)
	C 症状・傷病別の初期対応	① 心停止
		② 失神
		③ 意識障害
		④ ショック
		⑤ けいれん、けいれん重積状態(てんかん重積状態)
		⑥ 頭痛
		⑦ 高体温、低体温{症}
		⑧ 運動障害、感覚障害
		⑨ めまい
		⑩ 呼吸困難、喘鳴
		⑪ 胸痛、背部痛
		⑫ 腹痛、腰痛
		⑬ 急性消化管出血
		⑭ 誤飲、誤嚥
		⑮ 尿閉
		⑯ 精巣痛
		⑰ 損傷(外傷、熱傷、溺水)
		⑱ 薬物中毒
⑲ 敗血症		
⑳ 精神科救急		
D 災害医療	① 大規模災害(地震、津波、多数傷病者事故、テロ)	
	② 救護活動の基本(指揮と統制、安全、情報伝達、評価、トリアージ、治療、搬送)	
12 主要疾患・症候群 約10%	A 妊娠・周産期の異常	① 流・早産
		② 妊娠高血圧症候群
		③ 妊娠糖尿病
	B 精神・心身医学的疾患	① うつ病、双極性障害<躁うつ病>
		② 統合失調症
		③ パニック障害、社交<社会>不安障害、広場恐怖、適応障害<適応反応症>、心的外傷後ストレス障害<PTSD>、身体的苦痛症<身体症状症>、過換気症候群
	C 心身症	
	D 皮膚・頭頸部疾患	① 湿疹、皮膚炎(接触皮膚炎、アトピー性皮膚炎)
		② 蕁麻疹
		③ 薬疹
		④ ウイルス性発疹症(麻疹、風疹、水痘、ヘルペス)
⑤ 皮膚潰瘍、褥瘡		
⑥ 結膜炎、角膜炎		
⑦ 白内障		
⑧ 緑内障		
⑨ 糖尿病・高血圧・動脈硬化による眼底変化		
⑩ 急性中耳炎		
⑪ アレルギー性鼻炎		

大項目	中項目	小項目
	E 呼吸器・胸壁・縦隔疾患	① 上気道炎、扁桃炎、気管支炎、細気管支炎
		② 肺炎
		③ 肺結核、肺真菌症
		④ 気管支喘息(小児喘息を含む)
		⑤ 慢性閉塞性肺疾患<COPD>
		⑥ 肺癌
		⑦ 間質性肺疾患
		⑧ 自然気胸、緊張性気胸、外傷性気胸
		⑨ 急性呼吸窮迫症候群<ARDS>
		⑩ 睡眠時無呼吸症候群
		⑪ 肺塞栓症
	F 心臓・脈管疾患	① 不整脈
		② 先天性心疾患
		③ 弁膜症(僧帽弁膜症、大動脈弁膜症)
		④ 急性心筋梗塞、急性冠症候群、狭心症
		⑤ 心筋症、心筋炎
		⑥ 高血圧症
		⑦ 急性大動脈解離、大動脈瘤破裂
		⑧ 末梢性動脈疾患
		⑨ 深部静脈血栓症、下肢静脈瘤
		⑩ 心不全、肺水腫
	G 消化器・腹壁・腹膜疾患	① 胃食道逆流症<GERD>
		② 食道静脈瘤、胃静脈瘤
		③ 食道癌
		④ 胃潰瘍、十二指腸潰瘍<消化性潰瘍>
		⑤ 胃癌
		⑥ 急性胃腸炎
		⑦ 便秘症
		⑧ 乳児下痢症
		⑨ 急性虫垂炎
⑩ 炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎、Crohn病)		
⑪ 機能性消化管障害(機能性ディスぺプシア<FD>、過敏性腸症候群)		
⑫ 大腸癌		
⑬ 痔瘻、痔核		
⑭ 急性肝炎、慢性肝炎、脂肪肝		
⑮ 肝硬変、肝不全、肝性脳症		
⑯ 肝癌		
⑰ 胆石症、胆嚢炎、胆管炎		
⑱ 急性膵炎、慢性膵炎		
⑲ 膵癌		
⑳ 鼠径ヘルニア		
㉑ 腸閉塞		
㉒ 腸重積症		
㉓ 汎発性腹膜炎		
H 血液・造血器疾患	① 鉄欠乏性貧血、二次性貧血	

大項目	中項目	小項目
		② 急性白血病、慢性白血病
		③ 播種性血管内凝固<DIC>
		④ 悪性リンパ腫、骨髄腫
	I 腎・泌尿器・生殖器疾患	① 急性糸球体腎炎症候群、慢性糸球体腎炎症候群、ネフローゼ症候群、間質性腎炎
		② 糖尿病腎症
		③ 急性腎障害<AKI>、慢性腎臓病<CKD>
		④ 腎細胞癌、膀胱癌
		⑤ 尿路結石、尿路感染症
		⑥ 前立腺肥大症、前立腺癌、精巣癌
		⑦ 更年期障害
		⑧ 月経異常
		⑨ 子宮内膜症、子宮筋腫、子宮頸癌、子宮体癌
		⑩ 卵巣癌、卵巣嚢腫
	J 神経・運動器疾患	① 認知症
		② 緊張型頭痛、片頭痛
		③ 脳出血、くも膜下出血、頭蓋内血腫
		④ 脳梗塞、一過性脳虚血発作
		⑤ Parkinson病
		⑥ 髄膜炎、脳炎、脳症
		⑦ 熱性けいれん
		⑧ てんかん
		⑨ 脳性麻痺
		⑩ 頭部外傷、脊髄損傷
		⑪ 変形性脊椎症、脊柱管狭窄症
		⑫ 椎間板ヘルニア
		⑬ 変形性関節症
		⑭ 骨折、脱臼、捻挫
	K 内分泌・代謝・栄養・乳腺疾患	① 甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症
		② 糖尿病
		③ 脂質異常症
		④ 高尿酸血症
		⑤ 骨粗鬆症
		⑥ 乳癌
	L アレルギー性疾患、膠原病・リウマチ性疾患	① アナフィラキシー
		② 関節リウマチ
		③ 全身性エリテマトーデス<SLE>
		④ 血管炎症候群
		⑤ 結晶誘発性関節炎、痛風、偽痛風
	M 生活環境因子・職業性因子による疾患	① アルコール依存症、薬物依存症
		② たばこ(主流煙・副流煙)関連疾患
		③ 熱中症、寒冷による障害
		④ 中毒(食中毒を含む)
13 治療の基本 約4%	A 一般的な治療の基本	① 食事・栄養療法
		② 患者教育・カウンセリング
		③ 薬物療法

大項目	中項目	小項目
		④ 輸液、輸血 ⑤ 手術、周術期の管理、麻酔 ⑥ 臓器・組織移植、人工臓器 ⑦ 放射線治療 ⑧ 内視鏡治療 ⑨ リハビリテーション ⑩ 救急患者の治療 ⑪ 緩和ケア ⑫ 在宅医療
14 基本的手技 約4%	A 一般的手技	① 静脈採血
		② 静脈確保
		③ 動脈採血
		④ 穿刺(腰椎、胸腔、腹腔)
		⑤ 胃管の挿入と抜去
		⑥ 尿道カテーテルの挿入と抜去
		⑦ 気道確保
	B 注射	① 皮内
		② 皮下
③ 筋肉		
④ 静脈		
C 外科手技	① 清潔操作	
	② 手洗い、ガウンテクニック	
	③ Personal Protective Equipment<PPE>の着脱と廃棄	
	④ 縫合、結紮、抜糸	
	⑤ 創の消毒、被覆(ドレッシング)	
15 死、緩和ケア、終末期ケア 約2%	A 死の判定と診断	① 心臓死、脳死、脳死判定
		② 異状死
		③ 死亡診断、死体検案
	B 緩和ケア	① 緩和ケアの概念
		② 緩和ケアチーム
		③ 緩和ケア病棟<PCU>
		④ 全人的苦痛<トータルペイン>
		⑤ 苦痛のアセスメント
		⑥ 苦痛の緩和
	C 終末期ケア	① 死に至る心の過程
		② 終末期患者とのコミュニケーション
		③ 終末期における意志決定(尊厳死、リビングウィル)
		④ 終末期における水・栄養管理
		⑤ 終末期の治療
		⑥ 家族ケア(悲嘆のケア<グリーフケア>)
16 チーム医療と多職種連携 約2%	A 医療機関でのチームワーク	① 医師を含む医療専門職の連携
		② 多職種の各専門性の理解
		③ 医療専門職間の連携
		④ ガイドライン・プロトコール

大項目	中項目	小項目
17 生活習慣とリスク 約5%	B 地域でのチームワーク	① 病診連携、病病連携
		② 保健・医療・福祉・介護・教育の連携
		③ 家族との連携
		④ 地域連携バス
		⑤ 地域包括ケアシステム
	C コンサルテーション	① 対診
		② 転医
	D 社会生活支援	① 生活への復帰
		② 社会保障制度(所得、介護、障害)
		③ 人的支援
		④ 物的支援(福祉用具)
	A 基本概念	① 国民健康づくり運動
② 非感染性疾患<NCD>(生活習慣病を含む)のリスクファクター		
③ 健康寿命の延伸と生活の質[quality of life<QOL>]の向上		
④ 行動変容		
⑤ 健康づくり支援のための環境整備		
B 栄養、食生活		① 食事摂取基準
		② 栄養マネジメント<栄養管理>
		③ 食行動
C 身体活動、運動	① 身体活動とエネルギー消費	
	② 運動の効用	
D 休養・心の健康	① 睡眠の質、不眠	
	② ストレス対策	
	③ 過重労働対策	
	④ 自殺の予防	
E 喫煙	① 喫煙状況・種類(燃焼式・加熱式)	
	② 喫煙の有害性	
	③ 受動喫煙	
	④ 禁煙支援	
F 飲酒	① 飲酒状況	
	② 飲酒の有害性	
	③ アルコール依存への支援	
G 健康の社会環境モデル	① 社会的な健康規定要因(Social Determinants of Health)<SDH>	
	② 環境(社会経済的・構造的)レベルと個人レベルの要因	
	③ 行動レベルと行動変容	
18 一般教養的事項 約2%	A 医学史、人文・社会科学、自然科学、芸術、哲学などに関連する一般教養的知識や考え方	
	B 診療に必要な一般的な医学英語	